



日本生命は美咲町と包括連携協定を締結し、地域に根差した取組を進めています。

放置しないで！ 糖尿病と合併症

つい後回しにしていますか？

血糖値の上昇を放置すると糖尿病に至ります。ひいては重篤な合併症の引き金に...
健康診断で要再検査・要受診の診断がついたら医療機関へ相談しましょう。



日本生命保険相互会社

健康以外にもこんなリスクが....

負担はどのくらいかかるの？

高血糖は、早期に治療を行わないと合併症を引き起こすだけでなく、通院頻度の増加や治療費の増大にもつながります。症状が出ていなくても油断は禁物です。なるべく早く医療機関を受診しましょう。



糖尿病になった場合にかかる費用の目安※3



※3：高額療養費制度を利用した場合は利用後の金額

通院頻度の目安

早期治療し、服薬のみ※4

通院頻度
12回/年

自己注射薬などを使用※5

通院頻度
24回/年

透析治療が必要※6

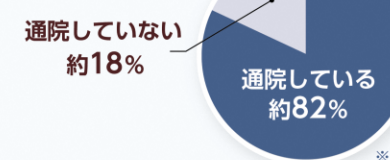
通院頻度
144回/年

早期治療の
10倍以上

重症化して後悔する前に！

あなたの血糖値と同じくらいの方は
約82%が通院しています

高血糖と測定されながら通院していない人は約18%。ほとんどの人が通院し、重症化を防いでいます。この数字からもわかるように、医療機関で医師から適切な医療を受けることが大切です。



お近くの医療機関検索はこちら

医療情報ネット（ナビイ）



二次元コード読み取り、または検索でアクセス

医療情報ネット

糖尿病 専門医

※1：厚生労働省：患者調査 令和5年患者調査

※2：令和6年度国民健康・栄養調査より（政府統計の総合窓口（e-Stat）（https://www.e-stat.go.jp/））

※3：【入院・手術等の費用】＜入院・手術にかかる費用＞厚生労働省「令和6年社会医療診療行為別統計」「令和5年（2023）患者調査の概況」＜差額ベッド代＞1日当たりの差額ベッド代6,862円×傷病別にみた退院患者の平均在院日数で計算（差額ベッド代：厚生労働省「中央社会保険医療協議会（第613回）資料 主な選定療養に係る報告状況」＜食事代（標準負担額）＞1日当たりの食事代1,530円（一般所得者／一般病床等の場合）×傷病別にみた退院患者の平均在院日数で計算（食事代（標準負担額）：2025年度の公的医療保険制度に基づいて計算）【継続的な投薬等の費用】＜糖尿病＞（公財）日本生命済生会日本生命病院監修を基に日本生命にて計算【その他の費用（運動療法）】運動療法の一例として、代表的なスポーツクラブにて週に2回運動した場合の費用を日本生命にて算出（2025年11月現在）【その他の費用（交通費・外食費用）】日本生命調べ2022年度「インターネットアンケート」の調査結果から計算

※4：1種類の薬と月1回の通院

※5：2種類の薬とインスリン注射（1日4回）、血糖自己測定（60回）、月2回の通院

※6：血液透析のため週3回の通院

※7：日本生命保有の「ヘルスケアビッグデータ」より算出

監修 日本生命保険相互会社 本店健康管理所 健康管理医長：倉重 隆明／石神 真人

日本生命保険相互会社
岡山支社

2026-80G, 安心の多面体企画部



あなたの血糖の状態は？

健康診断結果を確認してみよう！

要医療

要受診

要再検査

要精密検査

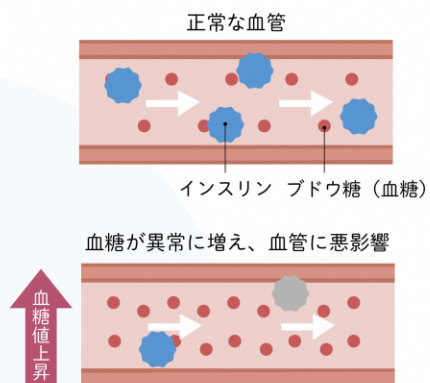
等

上記の判定だった方は一日も早い医療機関への受診が必要です。早期発見により病気の進行を防ぐことは、身体的負担だけでなく、経済的負担の軽減にもつながります。

恐ろしい合併症の引き金に....？！

糖尿病ってどんな状態？

糖尿病とは、「血中の糖が多い状態」のことです。膵臓から分泌され、血糖をエネルギーに変える働きをする「インスリン」が不足したり十分に働かなくなることで引き起こります。膵臓でインスリンを作る細胞が壊れてしまう「1型糖尿病」と肥満、食べすぎ、運動不足などの生活習慣などが原因の「2型糖尿病」、その他遺伝子異常等によるものがあります。



糖尿病が引き起こす恐ろしい合併症

合併症① 糖尿病 網膜症

高血糖状態により、網膜の血管の血流が悪化し、適切に対応しないと、失明する可能性があります。

合併症② 糖尿病性腎症

高血糖状態が続くと、腎臓の血管が損傷され腎臓の機能障害が起こり、適切に対応しないと、透析療法が必要になる可能性があります。

合併症③ 糖尿病性神経障害

神経に栄養を送る細い血管が傷つくことで感覚・運動神経障害や自律神経障害等を発症する可能性があります。

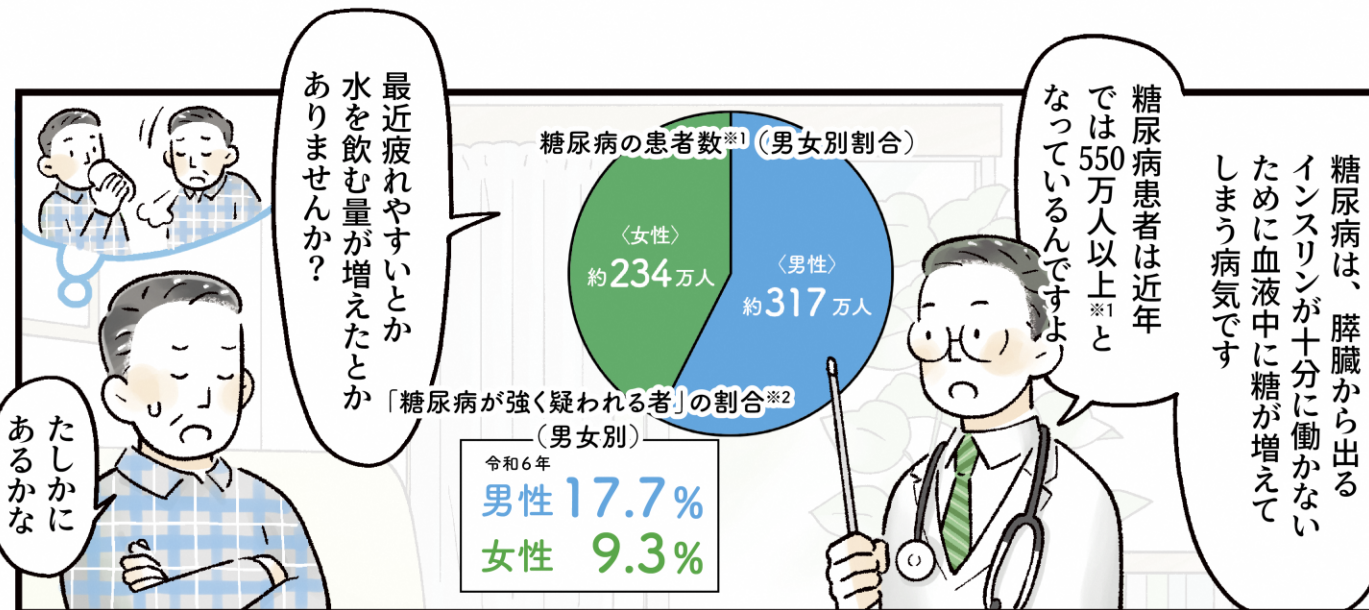
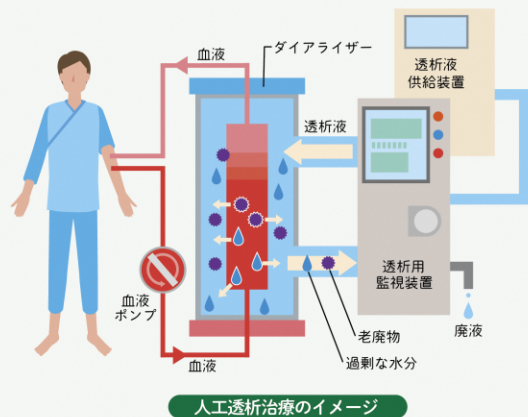
その他の合併症

動脈硬化性疾患（心疾患・脳血管疾患）、糖尿病足病変（壊疽）

腎症が悪化すると....

透析療法が必要になったら？

腎不全が進行し自覚症状が出現すると、透析療法が必要となります。透析療法とは、人工的に血液中の余分な水分や老廃物を取り除き、血液をきれいにする働きを腎臓に代わって行う治療法です。透析療法を行うには、週2〜3回、約4時間以上の通院が必要となるため、生活に大きな負担がかかります。



※1：太い血管が侵されると心疾患や脳血管疾患につながります ※2：知覚鈍麻による熱傷や外傷などが誘因

早期に通院し血糖コントロールを行うことが大事です。

糖尿病は放置するとさまざまな合併症のリスクが高まります。定期的な受診と継続的な血糖値の管理が重要です。医師と相談し、適切な治療法や生活習慣の見直しを行いましょう。食事や運動不足の改善が血糖値を良好にコントロールするポイントです。早期の対策が健康を守ります。一緒に頑張りましょう！

日本生命
健康管理医長の
コメント